

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道 ^{こまきかすがいせん} 小牧春日井線				
事業箇所	愛知県春日井市 ^{かみたらがちょう} 上田楽町～ ^{ひがし} 小牧市東				
事業のあらまし	<p>一般県道小牧春日井線は、国道41号から小牧市中心部を通り、国道155号へ接続して国道19号に至る東西軸の幹線道路である。また、小牧市と春日井市を結ぶ主要な幹線道路であり、小牧インターと春日井インターを結ぶ産業活動上においても重要な道路である。</p> <p>しかしながら、新木津用水から東へ田楽グラウンドまでの現道は、狭隘で歩道も無く、北条橋付近でクランク状になっていることなど、安全で円滑な交通流の確保が困難な状況である。さらに、沿線には、物流会社や製造工場などが立地していることから、今後とも大型車両を含む交通が見込まれているところである。</p> <p>このため、建設部方針の内「国際競争力を強化する基盤整備」に対して、北条橋から田楽グラウンド北交差点までのバイパス部分を整備することで、クランク状に屈曲した箇所の解消を図ることなどにより、地域間の連絡強化及び安全性の向上に大きく寄与するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2015)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2015年度 ～2023年度	2015年度 ～2023年度		
	事業費（億円）	13.0	7.3		
	経費内訳	工事費	4.3	4.3	
		用補費	8.2	3.0	土地評価や物件調査の結果による変動 ・土地及び物件補償価格の変更
		その他	0.5	1.0	
事業内容	バイパス整備 延長L=0.7km 幅員W=16.0m 2車線	バイパス整備 延長L=0.7km 幅員W=16.0m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>現道周辺には、物流会社や製造工場などが立地していることから、今後とも大型車両を含む交通が見込まれるが、クランク状に屈曲し狭隘ですれ違いが困難な箇所があり、安全で円滑な交通流の確保が必要である。バイパスを整備することで解消されるものである。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>事前評価時と変化なし</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>			

判定	B	A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																									
	【理由】 事業着手時の必要性に大きな変化はなく、依然として高い状況にあるため。																																																										
1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015～2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td>3.0</td> <td colspan="5">10</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.8</td> <td colspan="5"></td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>2.8</td> <td colspan="5">4.5</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table>				2015～2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種区分	調査・設計	←→		←→				/	用地補償	←				→		工事		←				→	事業費(億円)	前回計画	3.0	10					13.0	実績	2.8						2.8	今回計画	2.8	4.5					7.3
			2015～2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計																																																		
工種区分	調査・設計	←→		←→				/																																																			
	用地補償	←				→																																																					
	工事		←				→																																																				
事業費(億円)	前回計画	3.0	10					13.0																																																			
	実績	2.8						2.8																																																			
	今回計画	2.8	4.5					7.3																																																			
【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.0</td> <td>2.8</td> <td>93</td> <td>7.3</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4.3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>100</td> <td>3.0</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> <td>80</td> <td>1.0</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約70%</p>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0	0	0	0.7	0	事業費(億円)	3.0	2.8	93	7.3	38	工事費	0	0	0	4.3	0	用補費	2.0	2.0	100	3.0	67	その他	1.0	0.8	80	1.0	80																	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																							
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																						
延長(km)	0	0	0	0.7	0																																																						
事業費(億円)	3.0	2.8	93	7.3	38																																																						
工事費	0	0	0	4.3	0																																																						
用補費	2.0	2.0	100	3.0	67																																																						
その他	1.0	0.8	80	1.0	80																																																						
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																										
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・2023年度までに整備が完了する予定である。																																																										
判定	A	A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																									

②事業の進捗状況及び見込み

	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は順調であり、予定通り 2023 年度までに整備完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針（案）</p>	
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでも C 判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後 5 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 	